

学問は競技じゃない

「憧れとロマン」が原動力

京都産業大学教授 益川敏英さん



研究室には物理以外の本も大量に並び、師である坂田昌一氏の写真も＝京都市北区の京都産業大学

「子どもは本来、好奇心いっぱい、理科が大好きなんだ。2008年にノーベル物理学賞を受賞した京都産業大学教授、益川敏英(ますかみ としひで)さん(73)には、その信念がある。(神戸新聞)

だが、こう続けた。「今の教育は試験、試験。興味を持って突き詰める余裕がない。子どもも若者の「理科離れ」「科学離れ」が指摘されている。各分野で活躍する研究者たち

「子どもは本来、好奇心いっぱい、理科が大好きなんだ。2008年にノーベル物理学賞を受賞した京都産業大学教授、益川敏英(ますかみ としひで)さん(73)には、その信念がある。(神戸新聞)

「憧れとロマン」が原動力。益川敏英さんの「憧れとロマン」。それは生まれ育った名古屋で活躍する物理学者、坂田昌一(さかた 昌一)さん(故人)を知ったことで火がつけられた。

デンマークの挑戦 鍵は風力

北欧は一つの電力市場

デンマークの首都コペンハーゲンから船で15分ほど沖合に出ると、出力2千キロワットの風車20基が並ぶ。ウインドファームが約3%を賄う。

「市民風車の長い歴史があったから、風力発電の拡大政策を国民が理解している。地元大手紙記者、ソレン・スプリングボロはこう指摘した。

2020年までに電力の50%を風力発電で賄う目標を掲げるデンマークは、電力の安定供給を確保する市場「ノルド・プール」をスタートさせた。4カ国を送電網で結び、電力の安定供給を確保している。

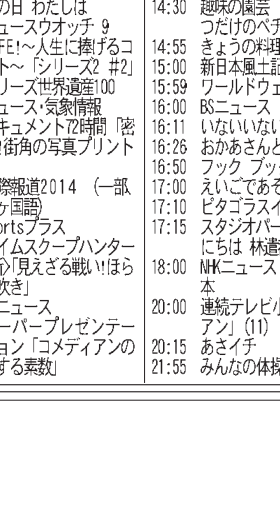
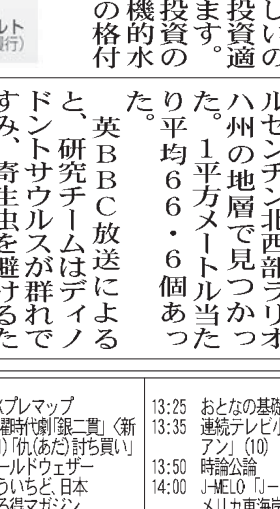
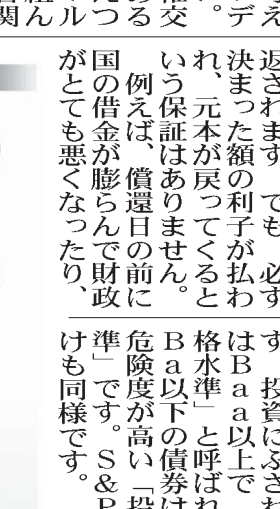
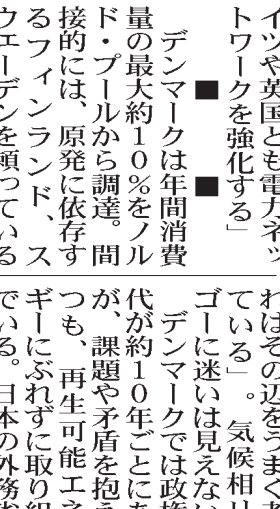
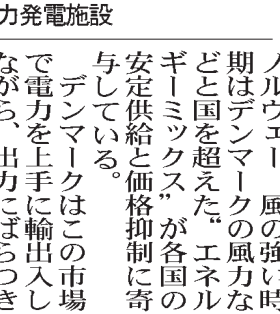
国は02年、電力を相互融通する市場「ノルド・プール」をスタートさせた。4カ国を送電網で結び、電力の安定供給を確保している。

「世界はグリーン化の波を捉え、独自の市場を提案し、自開した商品を知るため、私も海外にはよく行く。2年前、米・アトランタにシヨールムを開設した。国内外の展示会で需要を見極めてい

「生花の水分を油脂に置き換え、色素を加えるなど特殊加工し、柔らかくみずみずしい生花に近い状態を長期保存できる」

「母の日、クリスマス」

「今後の展望を。」



加工花を世界市場に

大地農園(丹波市) 大地但社長

「生花の水分を油脂に置き換え、色素を加えるなど特殊加工し、柔らかくみずみずしい生花に近い状態を長期保存できる」

「母の日、クリスマス」

「今後の展望を。」

「生花の水分を油脂に置き換え、色素を加えるなど特殊加工し、柔らかくみずみずしい生花に近い状態を長期保存できる」

「母の日、クリスマス」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

「今後の展望を。」

Table with 2 columns: Time, Program Name

Table with 2 columns: Time, Program Name

Table with 2 columns: Time, Program Name

Table with 2 columns: Time, Program Name

Table with 2 columns: Time, Program Name

Table with 2 columns: Time, Program Name

Table with 2 columns: Time, Program Name

Table with 2 columns: Time, Program Name

Table with 2 columns: Time, Program Name

Table with 2 columns: Time, Program Name

子どものそのに10万レ 草の根、食衛生の改善に



福島総領事(左)と子どものその関係者

在サンパウロ日本国総領事館(福島教師)

総領事は先月11日、社会福祉法人「子どものその」(谷口ジョゼー理事長)と「草の根」(谷口ジョゼー理事長)の両団体の安全確保無償資金協力)の贈与契約署名式を同館で行った。総額10万6千レで本部、実習センターそれぞれの椅子75脚、食器洗い機、冷蔵庫などが取り替えられる。なお、設置のための改築費6万レは同園が負担。

期待できる」と喜びを表した。同施設は1958年に設立され、現在使用している厨房、食堂の機材は過去に寄付された木製が主。破損も顕著であることからステンレス製の機材に変える必要があった。

池森敏子さん、100歳祝う 親族ら参集、日本から孫も

2月4日に100歳を迎えた池森敏子さんの誕生日会が同月9日午後、ニッケイパラセホテルで行われた。日本から駆け付けた孫ら、親族を中心に約100人が集った。大生生まれ、16歳で聖州セツチ・パラスに家族移住し、洋裁に励んだ。夫は広島県人会会長を務めた池森春三さん(故人)で、旧ブラジル公認日本語学校連合(日



親族らの祝福に笑顔を見せる敏子さん

大勢のお祝いに驚いた敏子さんは「私自身が何かしてきたわけじゃないのね」と謙遜を交え、体調は良いです。また長く生きていられよう」と微笑んだ。参加者らは敏子さんにお祝いの言葉をかけ、ともに昼食を楽しんだ。

開拓古戦場を思い馳せる ライブ平野と聖北海岸

(9)



「創立期には日本人がほとんど全員入会した。青年会も盛んだった。でも父兄だけでは先生を雇う方がなかった。1964年に会館ができた後、68年から4年間、週2回我々が交代で先生をやった。日本語教室もやっていた。鈴木さんが言う通り、幾度も試みられたが、そのたびに困難に直面し長続きしなかった。しかし、なんとか日本語学校建設費用を協力して調達し二階建て校舎を建設、5年前からJICA青年ボランティアの派遣を受けるようになった。半数

ルソンさんの家族が来られたよ」と地元役員が呼びに来た。安田良一の子で、日系初の大い安田フアビオの弟だ。急いで会館に戻ると舞台上に家族7人が立ち、ネルソンさん(87、二世タウバテ生まれ)が「父は通訳や農業指導者として、多くの日本移民を導いた。コロナが今こんなに賑やかにしていることを知っていたら、さぞや父も満足に思っただろう」と会館を埋めて座るふらふらと巡り一行を前にして感無量の面持ちで語った。「父はピンダが故郷始良(鹿児島県肝属郡)

どこか似ていると思っ、ここに住むことに決めたそう。ネルソンさんは遠く移民創世記の時代の記憶をたどる。鹿児島県のエリート判事だった隈部三郎が先代を継いで渡伯することを決意した際、時の鹿児島県知事・千頭清臣が各郡から有望な若者を一人ずつ選考して随行させた。その一人が安田良一(1885-1969)で、1906(明治39)年8月にリオヘ到着した。世代的な筆名で2年前であり、聖市の麦藁帽製造工場やレストランで働いた。

「移民史年表」を紐解くと、1915年7月に在聖領事館が開設された時、(初代)総領事の松村真雄は同月にさつき中央線のピンダ地方を視察し、サプカリア農場に安田良一を推薦して米作を試みさせる」とある。

「なんでも困るんですか? それに、なんで面倒くさい手続きを...、日本人同士もって、シンプルに事を運びましょうよ」(シンプルに? 君は二世だろ。日本人同士とは言えないじゃないか)「分りました。では、どうすれば...」「ちゃんとした手続きを踏んでらううしかないだろう」(どう云う手続きをすれば?)「だから、ちゃんとした...」(困ったな、彼の命にかかわるかもしれないけど、残念だな)「ちょ、ちょっと待って、なんで命にかかわるの? まっ、日本人が絡んでいるとなると、領事館として見逃す訳には...、一度、君と会ってやってみよう」(お会いしますか。では、国際カンシユウとやらの手順をお願いします)「なんだ? それ、どう云う意味だ? こちらは、直ぐに会いたいのだ」(ブラジル外務省を通して正式に申し込んでいただけませんか。外務省から許可が出れば直ぐお会いします)「バカ言な。人の命がかかっているんだぞ」(仕方がありません。ブラジルの慣習は相手国の慣習と全く同じにして対等な外交をします。だから、日本と同じ対応です。残念です)「だから、そこをなんとかして...」(では、領事館もモリグチ氏の情報をなんとかして下さい)「ちょっと待ってくれ、領事館には森口卓彦に関しての情報は...、ブラジル連邦警察の外国人入国リストに記載されていますか?」(それで、モリグチ氏は日本でなにをしたのですか?)「いや、別に」(なにもない? なにか情報を隠していませんか? もし、後で、問題が起されれば外務省を通じて日本大使館に抗議を入れます。それでいいですね)「なんだ! その態度は、俺を脅すつもりか!」(脅そうなんて...、どうも、エンドウさんとは上手く話が出来ませんね)「君! 君はブラジル人とはいくつか違う日系人だぞ、だから日本人らしく日本領事館に協力するのが当たり前じゃないか」(「当り前?」日本が都府県の時だけ二世や三世を日本人扱いするんですか? それに、日本人の顔して日本語を話さないのは可笑しい、恥ずかしい、日本文化を大切にしろ。なんて、口先で言いがらま、法的には外地で生まれた我々日本人ではないと差別し、見放すんですから、ふざけた国ですよ)「ふざけた国だ! 日本をバカにするな! お前こそふざけた事を言うじゃないか。法律によれば『生後三十日以内に親が領事館に届けなければ日本国籍は保証される』となってるがね。お前、知らないのか!」(それは、親次第で決まる事でしょうか! 俺達二世や三世の自己の意思は完全に無視されているじゃないですか。私の親も含めて日本人一世は二世、三世を少しも尊重していませんよ)「それは法務省の問題だ。それに君を差別したおぼえはないがね」(国際法を持ち出してまで断固としてブラジル人扱いされたし、一方で、俺達二世はブラジル人とは違う日系人だ、とも言ったじゃないですか。俺達はいったい何者なんですか?)「そう云う訳では...」(「ちゃんとした情報をくださるなら電話して下さい。では、失礼」(「待て! 君の電話番号をくれ」(「文章で正式に電話番号を要請して下さい」(「とほけた事言うな! 日本領事館をなんだと思ってる!」(税金を一銭も払わないで全てが保証された一等地にある建物で、我々二世には日本ビザを取得する以外には全く関係ない所です)」

「なんでも困るんですか? それに、なんで面倒くさい手続きを...、日本人同士もって、シンプルに事を運びましょうよ」(シンプルに? 君は二世だろ。日本人同士とは言えないじゃないか)「分りました。では、どうすれば...」「ちゃんとした手続きを踏んでらううしかないだろう」(どう云う手続きをすれば?)「だから、ちゃんとした...」(困ったな、彼の命にかかわるかもしれないけど、残念だな)「ちょ、ちょっと待って、なんで命にかかわるの? まっ、日本人が絡んでいるとなると、領事館として見逃す訳には...、一度、君と会ってやってみよう」(お会いしますか。では、国際カンシユウとやらの手順をお願いします)「なんだ? それ、どう云う意味だ? こちらは、直ぐに会いたいのだ」(ブラジル外務省を通して正式に申し込んでいただけませんか。外務省から許可が出れば直ぐお会いします)「バカ言な。人の命がかかっているんだぞ」(仕方がありません。ブラジルの慣習は相手国の慣習と全く同じにして対等な外交をします。だから、日本と同じ対応です。残念です)「だから、そこをなんとかして...」(では、領事館もモリグチ氏の情報をなんとかして下さい)「ちょっと待ってくれ、領事館には森口卓彦に関しての情報は...、ブラジル連邦警察の外国人入国リストに記載されていますか?」(それで、モリグチ氏は日本でなにをしたのですか?)「いや、別に」(なにもない? なにか情報を隠していませんか? もし、後で、問題が起されれば外務省を通じて日本大使館に抗議を入れます。それでいいですね)「なんだ! その態度は、俺を脅すつもりか!」(脅そうなんて...、どうも、エンドウさんとは上手く話が出来ませんね)「君! 君はブラジル人とはいくつか違う日系人だぞ、だから日本人らしく日本領事館に協力するのが当たり前じゃないか」(「当り前?」日本が都府県の時だけ二世や三世を日本人扱いするんですか? それに、日本人の顔して日本語を話さないのは可笑しい、恥ずかしい、日本文化を大切にしろ。なんて、口先で言いがらま、法的には外地で生まれた我々日本人ではないと差別し、見放すんですから、ふざけた国ですよ)「ふざけた国だ! 日本をバカにするな! お前こそふざけた事を言うじゃないか。法律によれば『生後三十日以内に親が領事館に届けなければ日本国籍は保証される』となってるがね。お前、知らないのか!」(それは、親次第で決まる事でしょうか! 俺達二世や三世の自己の意思は完全に無視されているじゃないですか。私の親も含めて日本人一世は二世、三世を少しも尊重していませんよ)「それは法務省の問題だ。それに君を差別したおぼえはないがね」(国際法を持ち出してまで断固としてブラジル人扱いされたし、一方で、俺達二世はブラジル人とは違う日系人だ、とも言ったじゃないですか。俺達はいったい何者なんですか?)「そう云う訳では...」(「ちゃんとした情報をくださるなら電話して下さい。では、失礼」(「待て! 君の電話番号をくれ」(「文章で正式に電話番号を要請して下さい」(「とほけた事言うな! 日本領事館をなんだと思ってる!」(税金を一銭も払わないで全てが保証された一等地にある建物で、我々二世には日本ビザを取得する以外には全く関係ない所です)」

「なんでも困るんですか? それに、なんで面倒くさい手続きを...、日本人同士もって、シンプルに事を運びましょうよ」(シンプルに? 君は二世だろ。日本人同士とは言えないじゃないか)「分りました。では、どうすれば...」「ちゃんとした手続きを踏んでらううしかないだろう」(どう云う手続きをすれば?)「だから、ちゃんとした...」(困ったな、彼の命にかかわるかもしれないけど、残念だな)「ちょ、ちょっと待って、なんで命にかかわるの? まっ、日本人が絡んでいるとなると、領事館として見逃す訳には...、一度、君と会ってやってみよう」(お会いしますか。では、国際カンシユウとやらの手順をお願いします)「なんだ? それ、どう云う意味だ? こちらは、直ぐに会いたいのだ」(ブラジル外務省を通して正式に申し込んでいただけませんか。外務省から許可が出れば直ぐお会いします)「バカ言な。人の命がかかっているんだぞ」(仕方がありません。ブラジルの慣習は相手国の慣習と全く同じにして対等な外交をします。だから、日本と同じ対応です。残念です)「だから、そこをなんとかして...」(では、領事館もモリグチ氏の情報をなんとかして下さい)「ちょっと待ってくれ、領事館には森口卓彦に関しての情報は...、ブラジル連邦警察の外国人入国リストに記載されていますか?」(それで、モリグチ氏は日本でなにをしたのですか?)「いや、別に」(なにもない? なにか情報を隠していませんか? もし、後で、問題が起されれば外務省を通じて日本大使館に抗議を入れます。それでいいですね)「なんだ! その態度は、俺を脅すつもりか!」(脅そうなんて...、どうも、エンドウさんとは上手く話が出来ませんね)「君! 君はブラジル人とはいくつか違う日系人だぞ、だから日本人らしく日本領事館に協力するのが当たり前じゃないか」(「当り前?」日本が都府県の時だけ二世や三世を日本人扱いするんですか? それに、日本人の顔して日本語を話さないのは可笑しい、恥ずかしい、日本文化を大切にしろ。なんて、口先で言いがらま、法的には外地で生まれた我々日本人ではないと差別し、見放すんですから、ふざけた国ですよ)「ふざけた国だ! 日本をバカにするな! お前こそふざけた事を言うじゃないか。法律によれば『生後三十日以内に親が領事館に届けなければ日本国籍は保証される』となってるがね。お前、知らないのか!」(それは、親次第で決まる事でしょうか! 俺達二世や三世の自己の意思は完全に無視されているじゃないですか。私の親も含めて日本人一世は二世、三世を少しも尊重していませんよ)「それは法務省の問題だ。それに君を差別したおぼえはないがね」(国際法を持ち出してまで断固としてブラジル人扱いされたし、一方で、俺達二世はブラジル人とは違う日系人だ、とも言ったじゃないですか。俺達はいったい何者なんですか?)「そう云う訳では...」(「ちゃんとした情報をくださるなら電話して下さい。では、失礼」(「待て! 君の電話番号をくれ」(「文章で正式に電話番号を要請して下さい」(「とほけた事言うな! 日本領事館をなんだと思ってる!」(税金を一銭も払わないで全てが保証された一等地にある建物で、我々二世には日本ビザを取得する以外には全く関係ない所です)」

新聞が届いていない場合
本社迄ご連絡下さい
ご連絡が無い場合 月曜～金曜(祝日を除く)
どの地域に新聞が届いていないのかが 午前中にお願致します
届いていないのかが (11) 3340-6060
わかりません ニッケイ新聞社

PERFUMARIA TAKEO
たけお店
化粧品専門
二九四・九三三

病氣平癒・健康祈願
南米神宮
R. Estado de Israel, 76
Vl. Clementino - S. Paulo - SP
Fone: (11) 5575-4783
www.templointoista.org.br

BANCO SUMITOMO MITSUI BRASILEIRO S.A.
SMBC
みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6% www.team-6.jp

Shiatsu 指圧・整体・針灸で
腰痛ヒザの痛み、首の痛み、
坐骨神経の痛み、エスポロン
Prof. Minoru Kohakura
日本製靴の中敷
大津スポーツのインソールの代理販売しています。
Tel: 3251-2210 / 3262-0835
Av. Paulista, 509 - Sala 7 (メトロ・ブリガデイロ近く)

SERRA NEGRA SP Chalés Hotel Fazenda SERRA NEGRA SP
VALE DO SOL
50人から5000人収容できる各種コンベンションセンター www.valedosol.com.br
Reserve Já! SEMANA SANTA / 1º de MAIO
10 PISCINAS, 4 AQUECIDAS e COBERTAS, 1 HIDROMASSAGEM
VISTA PANORAMICA 4 Saunas, quadras de: Tênis, Tênis, Vôlei, Basquete, Futebol Salão, Campo de Futebol Oficial, 2 Campos de Futebol Infantil, Brinquedoteca, Quadras de Basquete e Vôlei Infantil, Lagos para Pesca, Cavalos, Cinema, Cidade das Crianças, Castelo Infantil, Salões de Estar, Carteador, Leitura, TV e Jogos, Arvorismo, Tirolesa, Paredão de Escalada e Cancha de Bocha.
Reservas: (11) 4063-1080 - (13) 4062-9400 - (19) 4062-9050 - (21) 4063-9500 - (31) 4063-9500

KAMP
(11) 3106-8759
(11) 985-419-502
日本の年金の調査と受給
遺産相続・恩給・公証翻訳
Av. Liberdade 21,
10º andar, Sala 1012
(地下鉄リベルターデ駅より徒歩すぐ)
Próximo ao metrô LIBERDADE
営業時間: 1:30pm ~ 6:00pm

ブラジル東京海上は
安心と安全の提供を
通じて、豊かで
快適な社会生活と
経済の発展に
貢献します。
TOKIOMARINE
SEGURADORA
NOSSA TRANSPARENCIA, SUA CONFIANCA

